

2024（令和6）年10月13日（日曜日）に開催された外国籍県民かながわ会議（第12期・第12回）の議事録は次のとおり。

1 開会

（事務局）

- ・ 会議のルール、録音、傍聴者、欠席者及び配付資料について説明した。

2 全体会議

（柳晴実委員長）

- ・ 提言づくりもいよいよ終わりに近づいてきたが、前回の会議では、修正した提言案の内容を確認して、提言する項目を決定した。
- ・ その後、最終報告書の副題を「多文化理解と共感で築く未来～すべての県民が住みやすい神奈川～」に決定した。
- ・ また、最終報告書をまとめるに当たり、各部会で記載内容に過不足がないか確認していただいた。その内容が、本日の資料に反映されている。
- ・ 最終報告書案は懇話会委員に御確認いただき、御意見をいただいたので、本日はその対応について話したい。また、最終報告書に掲載する委員長あいさつと委員一同のあいさつ文をどうするかについても、意見交換したい。
- ・ 次回は懇話会との合同会議になるので、そのときに提示する資料や当日の流れについても、本日確認しておきたい。
- ・ また、最後にあーすフェスタのことを少し相談したいと思っている。
- ・ まず、懇話会からの御意見について話したい。資料2を御覧いただきたい。
- ・ 提言2について、「『委員以外の外国人の意見や提案を幅広く確認できる制度』とありますが、『確認（する）』ということばが少し分かりにくいです。『集める』を使ってはいかがでしょうか？』という御意見があった。
- ・ この提言を出した河委員は本日欠席だが、情報部会としてどう考えるか。

（ロボ ナシメント 部会長）

- ・ 河委員の考えとしては、例えばホームページの下のところと問合せメールアドレスを掲載して、ホームページを見た人が誰でも意見を出せるようにするというものが一つの案だった。国際課が窓口になり、メールを送ると国際課に届いて、内容により他の課と相談して対応する形を想定している。

りゅ ちょん しる いいんちょう
(柳 晴 実 委員長)

- 送られてきたメールの内容を私たちが見て確認した上で会議に反映する、
つなげられるという意味で、「確認」という言葉を使っていると思う。
「確認」という言葉を使うか、懇話会委員から御提案いただいた「集める」
にするか、それともそれ以外の言葉の方がよいか。

ぶ かいちょう
(ロボ ナシメント 部会長)

- 提案の意図は理解できる。国際課や窓口で住民の意見を集め、そこから
意見を取り上げてどうすればよいかを相談する、そういう意味で「確認」と
いう言葉を使っている。ただ、「幅広く集める」の方が適切かもしれない。

いわまつ さ ゆ み ふくいんちょう
(岩松 佐由美 副委員長)

- 集まった意見を確認した上で対応するという意図だったが、集めることが
表現できていないため、「集めて確認した上で」、または「集めた上で」
とするか、河委員に確認したい。確かに現状の表現は分かりづらいと思う。

き せい いいん
(祁 静 委員)

- ほかの外国の方の意見を、一度提出先で整理するという意図で「確認」
という言葉を使っていると思う。

りゅ ちょん しる いいんちょう
(柳 晴 実 委員長)

- 一段階目としては、誰でも意見を出せるように、意見を集める場所を作る
ことだと思う。その後、その内容について県民会議の委員や国際課が確認し
た上で、県民会議につなげられるものはつないでいくという流れをイメージ
していると思う。
- いろいろな人から意見を集めることが伝わるようにした方がよいというこ
とだと思うので、「幅広く集めて確認する」といった形で修正してよいか、
河委員にも御確認いただきたい。

いわまつ さ ゆ み ふくいんちょう
(岩松 佐由美 副委員長)

- 承知した。

りゅ ちょん しる いいんちょう
(柳 晴 実 委員長)

- 次に、提言5について、「『(支援の)課題解決』ということだが、説
明文と合わないように感じます。説明では、『実態や支援状況について
調査』して、『結果を…公開する』と書いてあります。『課題解決』よりも

『実態把握』のほうに近いように思いました。提言したい内容を、もう一度、確認していただくとよいと思います。」という御意見をいただいた。社会福祉部会としてどう考えるか。

(リディア ワンタ 部会長)

- 確かに今の提言の内容は実態把握が中心になっているので、修正した方がよいかもしれない。

(柳 晴 実 委員長)

- 提言の文章を変えながらまとめた中で、曖昧になったかもしれないが、実態把握まででよいのか、課題解決まで入れて提言したいのかだと思う。

(リディア ワンタ 部会長)

- 実態把握でよいと思う。

(柳 晴 実 委員長)

- 提言の本文には、「神奈川県が学校現場の実態や支援の状況を調査し、現状と課題を明確にしてほしい」と記載している。課題を明確にすることは入っているが、解決までは書ききれていない。もし解決というところまで提言内容に入れるのであれば、文章を書き足さなければいけないと思うし、実態把握と課題の明確化でよいのであれば、実態把握でもありだと思う。
- 提言5のタイトルを、「外国人保護者と子どものための教育支援、発達障害の子どもに対する支援の現状把握と課題の明確化、保護者への情報提供の拡充」という形にすれば、本文の内容と一致する。課題解決まで入れなくてよいのであれば、そういった形に書き換えてはどうか。

(鈴木 クリスチーナ 委員)

- 現状は調査していない段階である。調査後に課題が明確化されて、解決に向けた支援が必要になる。明確化と課題解決の両方を入れてはどうか。明確化だけだと、そこからどうするのが曖昧になると思う。

(柳 晴 実 委員長)

- 現状を把握して課題を明らかにした上で、その解決策を県として考えてほしいということが前提としてあると思う。鈴木委員の意見としては、提言を出すのであれば、課題解決まで考えてほしいということか。

すずき いじん
(鈴木 クリスチーナ 委員)

- ・ そうしないと、改めて解決策を考^あえてもら^かうよう提言^{ていげん}しないと^いけない。

りゅう ちよん しる いじんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 提言^{ていげん}の理由^{りゆう}に、課題解決^{かだいかいけつ}について書き足^かすととも^たに、提言^{ていげん}のタイトルにも「課題解決^{かだいかいけつ}」という言葉^{ことば}を盛り込^もむとい^こうことでよいか。

いじんいちどう
(委員一同)

- ・ 異議^{いぎ}なし。

りゅう ちよん しる いじんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 提言^{ていげん}7について、懇話会委員^{こんわかいいじん}からは「県^{けん}に対する提言^{たい}で団体^{だんたい}への要望^{ようぼう}を出すこと^だに違和感^{いわかん}がある。提言理由^{ていげんりゆう}には、『医療通訳者^{いりょうつうやくしゃ}に対して心理カウンセリング^{しんり}の研修^{けんしゅう}が必要^{ひつよう}』と書いてあるが、対象^{たいしょう}が医療通訳者^{いりょうつうやくしゃ}のみならば、提言^{ていげん}の文^{ぶん}にそのよう^{めいき}に明記^{めいき}する方^{ほう}が分^わかりやす^いい」とい^いう意見^{いけん}をい^いただいた。
- ・ 通訳ボランティア団体^{つうやくだんたい}の研修会^{けんしゅうかい}は、どこか^{ひと}一つの団体^{だんたい}をイメ^いージして^いいるのか。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- ・ 県^{けん}が管理^{かんり}している団体^{だんたい}をイメ^いージして^いる。

りゅう ちよん しる いじんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ それは複^{ふく}数^{すう}あるのか。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- ・ 以前^{いぜん}、「対話^{たいわ}の広場^{ひろば}」に参加^{さんか}して、知事^{ちじ}が質問^{しつもん}に答^{こた}えていたとき^{けん}に、県^{けん}が管理^{かんり}している団体^{だんたい}かどう^わかは分^わからないが、県内^{けんない}に^いる外国人^{がいこくじん}の心^{こころ}のケア^{きぼう}を希望^{こえ}するとい^いう声^{なんけん}が何^{なん}件^{けん}かあ^あった。
- ・ 日本^{にほん}に住^すんでいる外国人^{がいこくじん}のストレス^{おお}は大^{こころ}きい^{かんたん}が、心^{こころ}のケア^{かんたん}を簡^{かん}単^{たん}に受^うけられる窓^{まど}口^{ぐち}がない。外国人^{がいこくじん}と接^{せつ}触^{しょく}する団体^{だんたい}に、それ^わを分^わか^かつてほ^ほしい。

りゅう ちよん しる いじんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 懇話会^{こんわかい}の意見^{いけん}は、県^{けん}に提^{てい}出^{しゅつ}する提言^{ていげん}なので、一つの団体^{ひとだんたい}への要望^{ようぼう}ではなく、県^{けん}に^{たい}する要望^{ようぼう}として書^かいた方^{ほう}がよ^よいとい^いうことだ^{おも}う。
- ・ 「県主催^{けんしゅさい}で実施^{じっし}する研修会^{けんしゅうかい}」など、県^{けん}が関^かわつて^いるところ^{たい}に対して^{たい}の要望^{ようぼう}であること^わを分^わかるよう^かに書^かいた方^{ほう}がよ^よい。

- 研修会の中で実施してほしいということがメインのテーマであるため、「県が主催して実施する研修会やセミナーにおいて、心理カウンセリングを追加で実施してほしい」といった形で、文章を変えても問題ないか。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- 問題ない。ただ、県が主催する研修会というもののイメージが湧かない。

(事務局)

- 医療通訳ボランティアの研修のことを指しているか。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- それだけは分かるが、一般の人も参加できる研修会を県が実施しているのを見たことがない。

(岩松 佐由美 副委員長)

- 県が直接実施しているものは少ないと思うので、県が関連している団体といった表現にしてはどうか。

(柳 晴 実 委員長)

- 例えばMIC かながわが主催する研修では、県とMIC かながわはどのような関係性になるのか。

(事務局)

- MIC かながわは医療通訳を実施する上での協働事業者である。「県や県が連携している関係機関が行う」といった言葉がよいかももしれない。
- 広く一般向けの研修は、そもそもないと思う。施策ごとにボランティアとの関係が違うため、一般向けにはなかなかできないと思う。
- 我々も医療通訳や、一般通訳ボランティア向けの研修を実施しているが、医療なら医療、福祉なら福祉でやらないとボランティアのレベルアップにはつながらない。

(柳 晴 実 委員長)

- 「県や県が連携している関係機関が実施する研修会」でどうか。

(委員一同)

- 異議なし。

すずき いいん
(鈴木 クリスチーナ 委員)

- MIC かながわは研修が多い。参加必須のものが年2回あり、2か月ごとに各言語の研修がある。ただ各言語の研修では、通訳に行き感じてたストレスや問題についての話し合いがあるので、そこで少しは悩みを消化できる。
- いろいろなボランティアに参加しようと思ったら、研修がひっきりなしになる。いくら参加したいと思ってもできない。

(リディア ワンタ 部長)

- かながわ国際交流財団も毎月研修やセミナーを実施している。生活のための研修会なども行っており、外国人にとっては重要な情報だと思う。
- 確かに研修会は、各団体とも多いと思う。

すずき いいん
(鈴木 クリスチーナ 委員)

- 回数は多いが、心理カウンセリングはやっていないと思う。デリケートなテーマで、難しさがあるのかもしれない。そのテーマで募集すると、問題を抱えている人ばかりが集まるかもしれない。ただ、絶対に必要だとは思う。

りゅ ちょん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- 提言する意図としては、それぐらい心理カウンセリングの研修が必要だということを伝えて、県としてそういう意識を持って取り組んでほしいということを伝えるというところが一番大事な部分だと思う。
- ここは「県や県が連携する関係機関が実施する」という表現にして、問題意識を投げかける形にしたいと思う。
- 「人工知能を使って答えられる質問とそうでない質問があると思う。例えば『簡単な問合せの場合には人工知能で答えられるようにする』など、補足をしてはどうか」という意見もあったが、これについてはどう考えるか。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- 存在している技術を活用してほしい。簡単な質問でもよい。技術が進歩したら、さらに進化すると思う。まずは使い始めることが必要だと思う。

りゅ ちょん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- すべてがAIでクリアできるかということ、難しい部分も出てくると思う。趣旨としては、対応できる場所はAIで対応してほしいということなので、「簡単な問合せの場合には」という文言を入れ込むということではどうか。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- 問題ない。

(柳 晴 実 委員長)

- 懇話会の意見については、以上の形で修正するというのでよいか。

(事務局)

- 今回いただいた意見は、懇話会の柏崎会長からいただいた意見になるが、高橋副会長からもメールをいただいている。
- 「国際理解クラブ活動を促進するモデル事業に向けて、高校でのクラブ活動はあくまで生徒自身の自主活動ということになるため、高校の状況を見ながら実績のある高校を選択する必要がある。何かあれば協力するので御連絡をいただければと思う。」との御意見があった。
- 議論の中で鶴見総合高校の話が出ていて、そういった認識はあると思うので大丈夫だと思うが、報告させていただいた。

(柳 晴 実 委員長)

- 鶴見総合高校、座間総合高校、相模原弥栄高校などには、国際クラブのような活動があると聞いている。クラブ活動がなくても、多文化共生コーディネーターが入っている学校もあると思う。
- 提言が形になっていくときに、どこにモデル校を置くかという話も出てくると思う。Me-net が多文化共生コーディネーターの派遣も担っているため、実際に動いていくときはMe-netにも相談した方がよいと思う。
- 次に、最終報告書の中身について話し合いたい。提言6の「外国人高齢者支援Hub ステーション」については、金委員から「Hub」を無くした方がよいのではないかという意見があったが、削除して構わないか。

(委員一同)

- 異議なし。

(柳 晴 実 委員長)

- 最終報告書の提言の掲載順は、このままで問題ないか。

(委員一同)

- 異議なし。

じむきょく
(事務局)

- ・ 提言5については、備考欄に「外国人住民のための子育てチャート」と「イスラームの子どもたちを理解するために」という文言だけが載っていたが、事務局でイメージ画像を追加した。

りゅ ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 社会福祉部会が個別で行ったヒアリングについて、実施した日程は追記されているか。

じむきょく
(事務局)

- ・ 17ページの下部に記載した。

りゅ ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 統計的な資料で、ほかに入れてほしいものはあるか。先日、外国人高齢者の人数や割合を調べようと思ったが、うまく探せなかった。

じむきょく
(事務局)

- ・ 出入国在留管理庁の「在留外国人統計」では、5歳ごとの人数を出している。県の調査ではないため、数字が違う部分は出てきてしまうが、それを集計すれば、県内にどの年代の外国人が何人いるか載せることができる。

りゅ ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ できれば対応をお願いしたい。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- ・ 県で外国人の自殺者数を調べて載せることはできないか。外国人に心理カウンセリングの研修が必要という提言なので、参考にできればと思った。

じむきょく
(事務局)

- ・ 全体で亡くなった人数というのはあると思うが、どういう原因で亡くなったのか、さらにその方が外国人かどうかを調査することはできない。

りゅ ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 先日、あーすフェスタで在留資格の勉強会に行ったときに、割合的には高齢者が増えているわけではないが、外国人の全体数が増えているため、外国人高齢者の数が増えているということを話を聞きながら実感した。

- ・ それ以外に追加してほしい資料はあるか。

(委員一同)

- ・ 特になし。

(柳 晴 実 委員長)

- ・ 次に、1ページ目から3ページ目のあいさつ文について話したい。第11期までは委員長のあいさつ文と、委員一同の文章を別々に作成している。
- ・ 二つの文章の違いが分かりにくい。一つ目には最終報告書を作成するまでに考えてきたことが書かれている。二つ目の「今後に寄せて」は、第13期に向けたメッセージだと思っている。
- ・ それらを別々に載せる方がよいのか、一つにまとめた方がよいのか。

(サブコタ ドルラズ 委員)

- ・ まとめた方がよい。

(兪 大達 副委員長)

- ・ 一つにまとめて、後半に今後に向けたメッセージを書けばよいと思う。

(柳 晴 実 委員長)

- ・ 第11期はどうして二つに分けることになったのか、経緯を覚えているか。

(事務局)

- ・ 副委員長を中心に、「今後に寄せて」の文章を委員一同で先にまとめた。委員長のあいさつは、報告式間に提出されて掲載する形になった。

(柳 晴 実 委員長)

- ・ 第9期か第10期では、「今後に寄せて」は今後の県民会議はこうあってほしいということを書くことにしたため、敢えて分けた記憶がある。
- ・ 今期はどうか。記載内容は皆さんの意見をもとに決めたいと思うが、まとめて一個にするということではどうか。

(委員一同)

- ・ 異議なし。

(柳 晴 実 委員長)

- ・ メインの内容としては、第12期がどういう思いを込めて提言作りを進めてきたかを書く形になると思う。今後に向けた要望などがあれば、一緒に入れ込んでまとめることになるが、現時点で何か入れてほしいことはあるか。

すずき いいん
(鈴木 クリスチーナ 委員)

- ・ 第12期の提言がどうなっていくかわからない。提言した後で関わることができないので、県としてこの提言は受け入れるがこれは対応できないといったことを明確にしてもらえないのか。

りゅ ちょん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 事務局から、提言提出後の流れを説明していただきたい。

じむきょく
(事務局)

- ・ 提言の提出後、県庁内に提言内容を共有し、内容によって国際課の業務、ほかの部署が担当する業務といった割振りを確認する。
- ・ 各所属では、いただいた提言内容に基づいて施策化ができるかを検討する。
- ・ 毎年1回、提言への対応状況がどうなっているか国際課から確認して、まとめたものをホームページに掲載している。

りゅ ちょん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 自分でホームページにアクセスすれば見られるが、ホームページに掲載したという案内はどこかに出るのか。

じむきょく
(事務局)

- ・ 前期の委員にメールでお知らせはしていないので、した方がよいと思う。

りゅ ちょん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ そういうお知らせをいただくと、それを受けて確認することができる。
- ・ 第11期の提言への対応状況はもう掲載しているのか。

じむきょく
(事務局)

- ・ 今年の3月に掲載している。

りゅ ちょん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ ホームページで確認可能とのことだが、提言後の状況確認に関する内容は、冒頭の文章に盛り込みたいと思う。
- ・ ほかに盛り込んでほしい内容はあるか。

いわまつ さゆみ ふくいんちよう
(岩松 佐由美 副委員長)

- ・ 各委員が考えた内容を、グループLINEで送るということでどうか。

いいんちどう
(委員一同)

- ・ 異議なし。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 事務局へはいつまでに提出すればよいか。

じむきよく
(事務局)

- ・ 11月3日の合同会議の前に懇話会委員に資料送付するため、10月21日まで
に御提出いただきたい。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 承知した。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 合同会議の流れについて、事務局から説明をお願いしたい。

じむきよく
(事務局)

- ・ 11月3日は、まず懇話会単独で会議を行う。その後、懇話会と県民
会議で合同会議をする。最後に、県民会議だけで振返りの会議を行う。
- ・ 合同会議は、10時55分開始予定。懇話会単独の会議と同じ会議室で行う
ため、別の会議室を控室として予約している。そこで事前の話し合いや、
リハーサルなどが必要であればしていただくイメージである。
- ・ 合同会議では、懇話会の意見も踏まえてこういう形で最終報告書をまと
めたということをパワーポイントで発表していただく。その後、懇話会
委員の意見を聞いて、その対応を単独会議で話し合うことを考えている。
- ・ もう一つ、先日委員長から話があったが、懇話会は今まで個別に話を聞
いたり会議に参加していただいたりしたが、外国籍県民かながわ会議と
懇話会の連携のあり方についての話も会議の中でできるとよい。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ オープン会議のときは、各部会でパワーポイントを作成して事務局にまと
めてもらった。今回も同様の作業が必要になると思う。
- ・ 合同会議の当日、部会ごとに提言の説明を誰が行うかも、決めておく
必要がある。各部会でパワーポイント担当と、説明担当を決定し、グループ
LINEで共有してほしい。

じむきょく
(事務局)

- ・ パワーポイントは、オープン会議で作成したものを共有するので、それを修正いただきたい。

りゅう ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 懇話会と県民会議の連携のあり方について、以前は県民会議で作成した提言案について、懇話会委員にその場で意見をもらって修正することを繰り返すような形で、どちらかというところチェックしてもらった感覚があった。
- ・ 県民会議の委員は自分たちの身の回りのことはよく分かっている、全体像が分からないため、ここ何期かは、勉強会を行ったり、懇話会委員から個別にヒアリングを行うなど、やり方が変わってきている。
- ・ 今期は部会に入ってもらって一緒に話をする機会もあったので、そのやり方自体がどうなのかということや、今後どのように連携していくのがお互いにとってよいか、意見交換してもよいのではないかと思っている。

すずき いいん
(鈴木 クリステーナ 委員)

- ・ 今期は懇話会委員と直接話ができよかった。第11期はコロナの関係で、ずっと Zoom だった。ただ、もっと部会のメンバーが提言する内容について理解した上で懇話会に話を聞けるとよい。話を聞くタイミングを変えるか、何か別の形でできないかとは思っている。

りゅう ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 提言案を作り始める段階で、全体像が見えた方がよいかと思って、今期は早めに1回話を聞く機会を設けた。私たちの問題意識から出てきた提言案があって、懇話会の話を聞くことで違う方向に引っ張られてしまったり、制限がかかってしまったりという心配もある感じか。

すずき いいん
(鈴木 クリステーナ 委員)

- ・ 次期は、そうした点も分かった上で対応すれば、問題ないと思う。

りゅう ちよん しる いいんちやう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 次に、あーすフェスタについて話したい。開催日は11月30日と12月1日の二日間で、時間は10時から17時。本郷台にある「あーすぷらざ」で行う。
- ・ ステージ部会、ワークショップ部会、フォーラム部会、広報部会の企画がほぼ固まって、具体的な準備が始まった状況である。

- 屋台やキッチンカー、物品の販売、ワールドバザールもある。どんどん宣伝してもらって、たくさん人が集まるように協力をお願いしたい。
- フォーラム部会では、私が県民会議の代表として、あーすフェスタの企画委員会に参加しながら、提言の内容をもとに企画を提出した。
- 世代やライフステージごとの生の声を届けるということで、高齢者と若者という枠で企画を作っている。実施日は12月1日で、午前中は高齢者をテーマにした企画、午後は若者をテーマにした企画をやりたいと思っている。
- 高齢者の企画では、スペイン語で健康体操をやっているエリサさんに来ていただき、参加者全員で健康体操をした後、日本で暮らしているスピーカーに話をしてもらおう。これまでの自分と、今の自分と、これからの夢、そういったことをテーマに話をしてもらいたいと思っている。
- また、川崎市ふれあい館に通っている、在日コリアンのおばあちゃんにも来ていただきたかったが、自分たちの映画の宣伝で忙しく難しいそうなので、インタビュー動画を撮って流そうと思っている。
- 県民会議の鈴木委員からも話をしてもらおう。そのほか、インドネシア人の70代の方も御紹介いただける予定なので、話をしてもらいたい。
- 健康体操をして、3名の話をし少しずつ聞いて、その後でグループに分かれて参加者と登壇者が近い距離で対話ができる形にしたいと思っている。
- 外国人高齢者もいれば介護施設で働いている職員がいたり、親の介護をどうしようと思っている若い世代がいたり、いろいろな方が混じって話できれば理想だと思っている。
- 若者の企画は、提言の内容として国際理解クラブについては学校内の活動がメインになってくると思うので、朝鮮学校などの外国人学校や、多文化の生徒が多い明朋高校に声をかけて、来てもらうことを考えている。
- それぞれの学校紹介や活動紹介をもらった後に、自分たちの今まで、今、これからの夢を発表してもらった上で、グループワークができたかどうかと思っている。
- 県民会議の提言は紹介した方がよい。展示ブースに提言を貼り出して見てもらえるようにしたり、提言を印刷して配ったり、県民会議の委員にも当日2～3人いてもらって、来た人に説明したり、県民会議の宣伝を含めてできればよいと思っている。こういう会議があるということ、若い世代にも知ってもらえるとよい。

- ・ フォーラム部会としては、もう一つ、11月30日に在留資格に関する企画を考えている。寸劇で問題提起をして、グループワークをして、行政書士の先生からコメントをいただくという流れで、3パターンぐらいやりたい。
- ・ ステージ部会のファッションショーには、リディア委員が出演予定。今年のフィナーレでは、「It's a Small World」を多言語で歌う予定。
- ・ ワークショップ部会では、若者たちの多文化・多言語しゃべり場カフェを実施する。外国人だけではなく、高校生や大学生にも参加してもらって日頃思っていることを気軽に話せる場にしたい。
- ・ 県民会議のブースについては、出展を申し込むということではよいか。

いいんちどう
(委員一同)

- ・ 異議なし。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ どういう形で出展するのがよいか。日本語だけだと、外国籍の方が読めるかどうか心配である。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- ・ やさしい日本語で、ふりがながあればよいのではないかな。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 県民会議の説明と、提言の内容を入れたものをパネルに貼って、その前の机などに印刷した提言の資料を置く。事務局で印刷は可能か。

じむきよく
(事務局)

- ・ 可能である。

(ロボ ナシメント 部会長)

- ・ やさしい日本語と英語。中国語はどうか。外国人の人数は1位である。

(ハリロバ ナタリア 委員)

- ・ イベントに来る外国人は、そんなに中国人が多くないのではないかな。

りゅ ちよん しる いいんちよう
(柳 晴 実 委員長)

- ・ 参加者は、圧倒的に日本人が多い。外国人は出演者側に多い。ただ、多言語で掲示してある、貼ってあることに意味があるとも思う。県民会議の委員の皆さんが提言の題名だけでも翻訳してくれたら、全部貼ってもよい。

(^{ゆう} 大達 ^{ふくいんちやう} 副委員長)

- 例^{たと}えばQRコード^{つく}を作^{つく}って、そこ^{たげんご}から多言語^とのページ^{かたち}に飛^とぶ形^{かたち}はどうか。
全部^{ぜんぶ}の言語^{げんご}を入^いれるとぐちゃぐちゃ^いになってしま^いう。

(^{りゅう} 晴実 ^{しいんちやう} 委員長)

- 会^{かいじやう}場^{じやう}にはやさしい日本語^{にほんご}だけ^はを貼^だり出^だして、QRコード^はからアクセス^はしたら、提言^{ていげん}の題名^{だいいめい}だけでも多言語^{たげんご}で見^みられるようにする。

(^{すずき} 鈴木 ^{いいん} クリスチーナ 委員)

- 全部^{ぜんぶ}翻^{ほん}訳^{やく}しなくてもよ^いいか。

(^{りゅう} 晴実 ^{しいんちやう} 委員長)

- 題名^{だいいめい}の部分^{ぶぶん}だけでよ^いい。皆^{みな}さんに翻^{ほん}訳^{やく}の対^{たい}応^{おう}をお願^{ねが}いできるか。

(^{いいんちどう} 委員一同)

- 異^い議^ぎなし。

(^{すずき} 鈴木 ^{いいん} クリスチーナ 委員)

- イメ^いージ^ぎとして場^{ばしよ}所^{じよ}はど^{どこ}こになるか。

(^{りゅう} 晴実 ^{しいんちやう} 委員長)

- フォ^ぶーラム^{かい}部^ぶ会^かの二^{ふつ}日^か目^めの企^き画^{かく}は、リ^{おこな}リス^まギ^{なか}ャ^{なか}ラ^{なか}リ^{なか}ー^{なか}で^{なか}行^なく^な。真^まん^{なか}中^{なか}の
ア^うナ^うト^うリ^うウ^うム^うと^うい^うう^う受^う付^けの^う後^うろ^うか^うら、右^み側^ぎに^みず^ぎつ^がと^わ奥^{おく}ま^すで^す進^いん^ちで、一^{いち}番^{ばん}奥^{おく}ま
で^い行^いく^いと^いリ^えス^えギ^えャ^えラ^えリ^えー^えが^えあ^えつ^えて、絵^えな^えど^えの^え展^{てん}示^じを^お行^おつ^おて^おい^おる。
- その^おギ^おャ^おラ^おリ^おー^おま^おで^お続^{つづ}い^{つづ}て^{つづ}い^{つづ}る^{つづ}ロ^だビ^だー^だに^だブ^だー^だス^だを^だ出^だし^だて、展^{てん}示^じし^おた^おい^おと^お思^{おも}つ^{おも}て^{おも}い^{おも}る。
- でき^いれ^いば^い委^い員^いの^い誰^{だれ}か^{だれ}が^{だれ}い^{だれ}て、県^{けん}民^{みん}会^{かい}議^ぎの^{けん}説^{せつ}明^{めい}と^{せつ}提^{てい}言^{げん}の^{せつ}説^{めい}明^{めい}を^{せつ}す^{めい}る、
そ^こは^こ来^こら^これ^こる^こ人^{ひと}で^{ひと}順^{じゆん}番^{ばん}で^わ割^ふり^ふ振^ふつ^ふて^ふ対^{たい}応^{おう}し^{たい}た^{たい}い^{たい}と^{たい}思^{おも}う。
- 翻^{ほん}訳^{やく}す^{ほん}る^{やく}の^{ほん}は、題^だ名^{いめい}と^ふ太^ふ字^{とじ}の^ふと^ふこ^ふろ^ふだ^ふけ。提^{てい}言^{げん}の^{ない}内^{ない}容^{よう}を^し知^しつ^して^しも^しら^しう^しこ^しと^し
も^だ大^{だい}事^じだ^{だい}が、外^{がい}国^{こく}籍^{せき}の^{みな}皆^{みな}さん^{みな}が^い意^い見^{けん}を^か形^{かたち}に^{けん}し^{てい}て^い県^{けん}に^{てい}提^{てい}出^{しゅつ}す^ぼる^ぼ場^ばが^おあ^おる^おこ^おと、
こ^もん^もだ^もい^もん^もだ^もい^もし^もき^もを^も持^もつ^もて^もい^もる^もと^も伝^{つた}え^{つた}る^{つた}こ^だい^だじ^だと^お思^{おも}う。

(^りディ^ふア^{かい} ワ^{ちやう}ン^{ちやう} タ^{ちやう} 部^{ちやう}会^{ちやう} 長^{ちやう})

- い^{てい}つ^{しゅつ}ま^{しゅつ}で^{しゅつ}に^{しゅつ}提^{てい}出^{しゅつ}す^{しゅつ}れ^{しゅつ}ば^{しゅつ}よ^{しゅつ}い^{しゅつ}か。

(^{りゅう} 晴実 ^{しいんちやう} 委員長)

- 最^{さい}終^{しゅつ}的^{てき}的^{てき}には、11^{がつ}月^{にち}29^{にち}日^{にち}ま^{にち}で^{にち}に^{にち}ホ^がー^{にち}ム^{にち}ペ^{にち}ー^{にち}ジ^{にち}に^{にち}ア^{にち}ッ^{にち}プ^{にち}し^{にち}て、QR^{にち}コ^{にち}ー^{にち}ド^{にち}を^{にち}
作^{さく}成^{せい}す^{さく}る^{せい}必^{ひつ}要^{よう}が^{ひつ}あ^{ひつ}る^{よう}。段^{だん}取^とり^とは、岩^{いわ}松^{まつ}副^ふ委^ふ員^ふ長^ふを^ふ中^{ちゅう}心^{しん}に^{けん}検^{けん}討^{とう}し^{けん}て^{けん}ほ^{けん}しい。

- 提言^{ていげん}を大きくコピーすることについては、国際課^{こくさいか}に相談^{そうだん}すればよいか。

(事務局^{じむきょく})

- 普通に印刷^{ふつう いんさつ}できるのはA3サイズまで。それより大きい場合^{おお ばあい}は、分けて印刷^{いんさつ}して貼り合わせる形^{は あ かたち}になる。

(柳 晴 実 委員長^{りゅう ちよん しる いいんちやう})

- パネルの大きさやブースの範囲^{はんい}が分からないので、分かったらお伝え^{つた}する。

(事務局^{じむきょく})

- 第13期^{だい き}の委員^{いいん}を募集中^{ぼしゆうちゆう}であり、申込み^{もうしこ}を検討^{けんとう}いただくよう案内^{あんない}した。
- 報告式^{ほうこくしき}の実施^{じっしよ}予定^{ていじ}日時^じについて説明^{せつめい}した。

(以上^{いじやう})